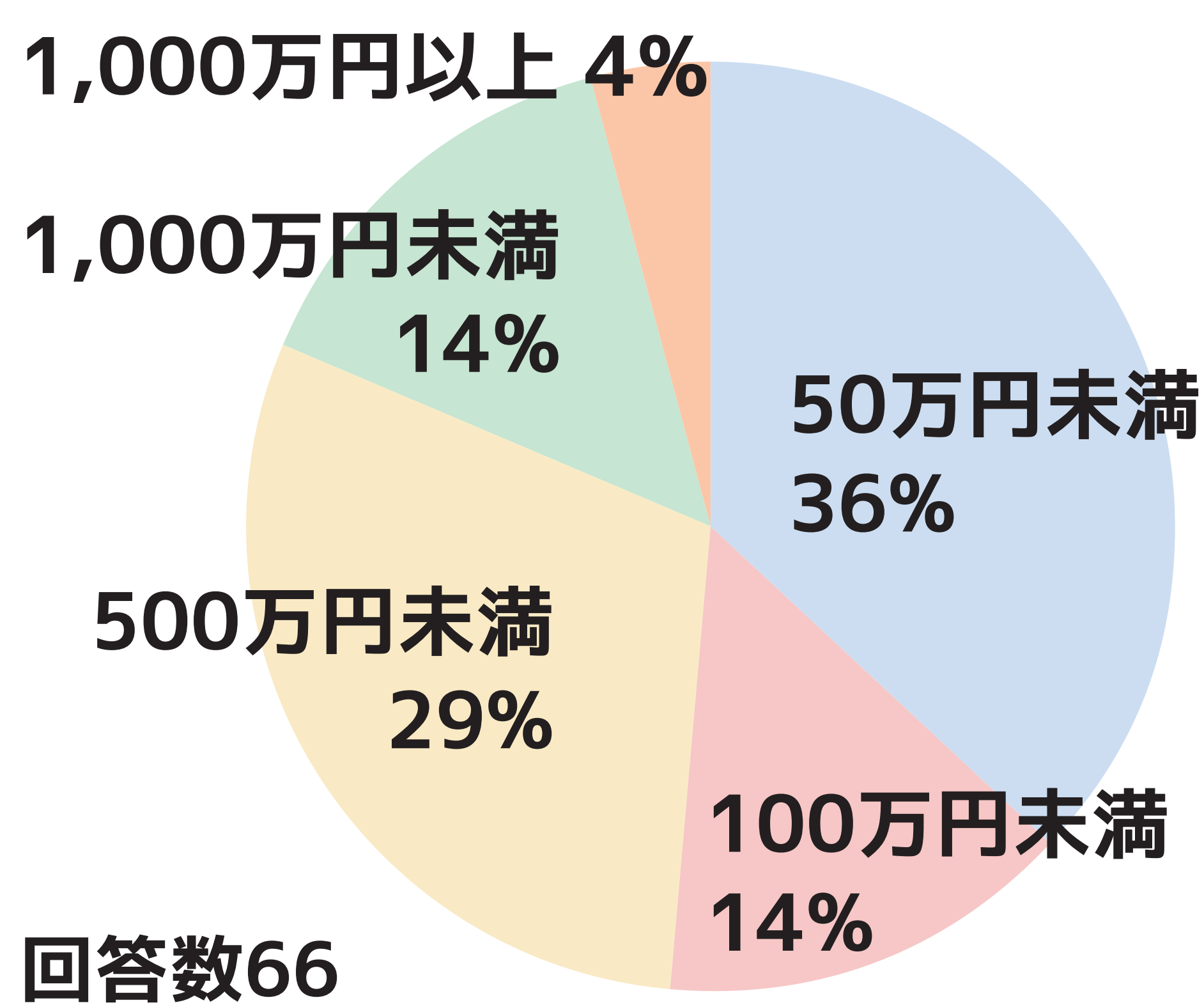


COVID-19が希少・難治性疾患の患者団体に与える影響調査(1/2)

※COVID-19=新型コロナウイルス感染症

収 集：WEBまたは郵送法を用いた無記名自記式アンケートをNPO法人ASridが実施
 期 間：2020年10月-11月
 対 象：希少疾患・難治性疾患の患者会全国組織、地域難病連絡協議会
 倫理的配慮：①アンケートの目的・利用方法の事前説明、②団体特定可能な情報を排して分析
 質 問：COVID-19による団体活動への影響、支部への影響、支援ニーズなど
 解析方法：記述統計を算出、一部項目の関連を解析した。関連する自由記述を一部引用した
 回 答 数：70団体から回答を得た。うち69団体からの回答を有効回答とした
 内訳は患者会63団体、地域難病連絡協議会6団体であった

年間収入の現状(円グラフ)と前年度収入との比較



前年度より増加	2団体
前年度並み	32団体
前年度より減少	34団体

約50%が100万円未満の収入。
前年度と比べて収入が減った
団体が約50%あった

【収入減と回答した団体の声】

“今年はコロナウイルス対策で
総会・医療講演会を急遽中止
したので、思いきって年会費は
無しにした”

“全国大会等の開催中止による
企業等の協賛金収入が
減少した”

団体の各種活動へのCOVID-19の影響

